

ブランドエクスペリエンス

コーポレート・団体

広告主名	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	期間	2021年7月23日 ～ 2022年9月5日
コーポレート・団体ブランド名		地域	全国 / 世界
施策名	TOKYO2020 ANIMATED SPORT PICTOGRAMS	使用媒体	競技会場ビジョン / アスリートエントリー / サイネージ / WEB / オリンピックチャンネル

1. 施策をおこなった背景や課題

スポーツピクトグラムの「継承と進化」。

1964年の東京大会ではじめてピクトグラムが生まれた。導入から56年経った今、当時のピクトグラムを「レガシー」として継承し、最新テクノロジーにより、競技の魅力を現代的に進化させた「動くスポーツ・ピクトグラム」を開発。これは、オリンピック・パラリンピック競技大会史上初の試みである。

3. 結果 (RESULTS)

世界中で「ピクトグラム・ブーム」が起きる。

「動くスポーツ・ピクトグラム」は、競技会場をはじめ、オリンピックチャンネルなどのさまざまなWEBメディアで披露された。なかでも東京五輪の開会式で行われたピクトグラムのパントマイム・パフォーマンスは、世界中で話題になり、自作したピクトグラムをソーシャルメディアで投稿し合う現象が起きるなど、前例のないピクトグラム・ブームが起きた。1964年に生まれたピクトグラムは、世界中を楽しませる「動くスポーツ・ピクトグラム」として、新たな進化を遂げた。

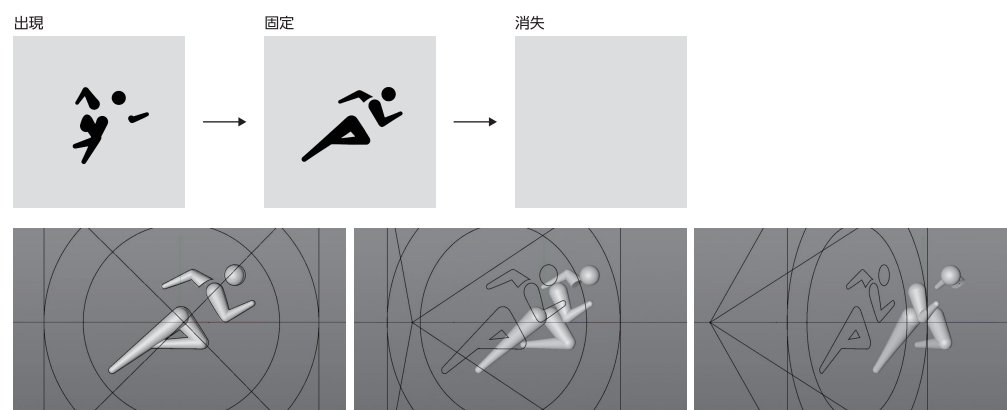
2. 解決方法 (SOLUTION)

モーション・グラフィックス「動くスポーツ・ピクトグラム」の開発。

「動くスポーツ・ピクトグラム」は、「出現→固定→消失」の3つの動きで構成。静止画のピクトグラムから前後の動きを加えることで、よりその静止画自体が躍動するような印象を与えています。そして、新たな制作手法として3Dモデルを作成し、3Dカメラ・ワークを使うことで、選手のダイナミックな動きをより現代的に表現しました。

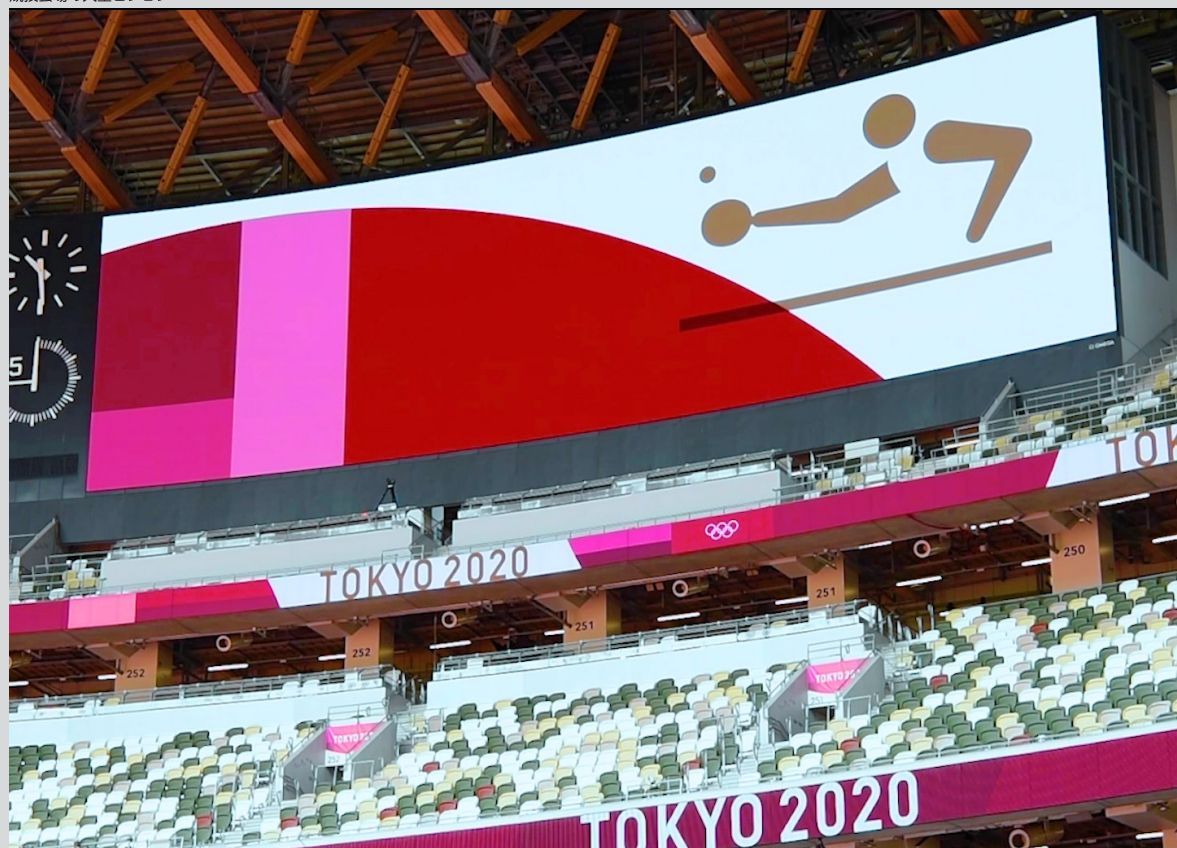
4. 企画のポイント

「出現→固定→消失」と「3Dモデル」による新しい制作アプローチ。

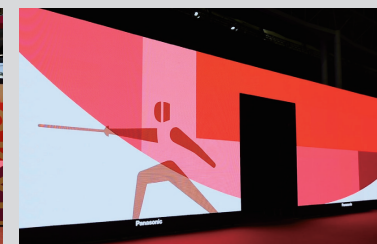


TOKYO 2020 ANIMATED SPORT PICTOGRAMS

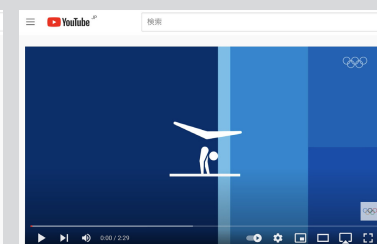
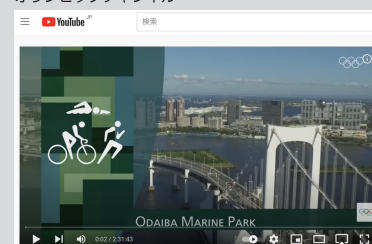
競技会場の大型ビジョン



アスリートエントリー



オリンピックチャンネル



開会式のパントタイム・パフォーマンス



ドローン



SNS

